

婦人科に入院されていた患者さん又はご家族の方へ（臨床研究に関する情報）

当院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、患者さんの診療情報を用いて行います。このような研究は、「人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針（令和3年文部科学省・厚生労働省・経済産業省告示第1号）」の規定により、研究内容の情報を公開することが必要とされております。この研究に関するお問い合わせなどがありましたら、以下の問い合わせ先へご照会ください。

[研究課題名] 婦人科腹腔鏡手術における、M-TAPA と創部浸潤麻酔の術後鎮痛効果に関する後方視的検討

[研究責任者名・所属] 相川勝洋 北海道大学大学院医学研究院 麻酔・周術期医学教室 助教

[研究の目的] 婦人科腹腔鏡手術を受ける患者さんに対しより良い鎮痛法を検証するため

[研究の方法]

○対象となる患者さん

令和2年1月1日から令和3年7月31日までに、北海道大学病院で婦人科腹腔鏡下手術を受けた20歳から70歳までの成人患者さん

○利用するカルテ情報

カルテ情報：年齢、身長、体重、病名、併存症、アメリカ麻酔学会 physical status 分類、術式、麻酔/手術時間、麻酔方法、麻酔薬の使用量、術後の鎮痛薬使用回数、局所麻酔薬に関連した有害イベント発生の有無

[研究実施期間]

実施許可日～2022年12月31日

この研究について、研究計画や関係する資料、ご自身に関する情報をお知りになりたい場合は、他の患者さんの個人情報や研究全体に支障となる事項以外はお知らせすることができます。

研究に利用する患者さんの情報に関しては、お名前、住所など、患者さん個人を特定できる情報は削除して管理いたします。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さんを特定できる情報は削除して利用いたします。

* 上記の研究に情報を利用することをご了解いただけない場合は以下にご連絡ください。

[連絡先・相談窓口]

北海道札幌市北14条西5丁目

北海道大学病院麻酔科 担当医師 相川勝洋

電話 011-706-1161（内線）5733 FAX 011-716-7861